

# 追跡 レポート

— あの質問のゆくえ —

## 家庭用蓄電池への補助

今後、家庭用蓄電設備の需要が増えると考えられる。町独自の補助を導入する考えはあるか。

(令和3年6月議会)

答弁

県は、令和3年度から蓄電池を設置する場合の補助を新設している。県の状況を見ながら、検討していく。

どうなった

### 令和4年度より補助対象となり、支援が拡充された

町では、再生可能エネルギー導入への支援として、平成25年度より太陽光発電設備、平成27年度より木質バイオマス燃焼機器の設置に支援を実施してまいりました。

県においても再生可能エネルギー導入に対して支援を行っており、令和3年度より太陽光発電設備で利用する蓄電池についても補助対象となるよう、補助の内容が変更されました。

これらの状況を踏まえ、令和4年度より町でも蓄電池を補助対象としました。県と同様に、太陽光発電設備と同時に蓄電池を導入する場合および既に設置している太陽光発電設備で利用するため後から蓄電池を単独で導入する場合、補助金を交付してお

ります。家庭用と共に事業所用も補助対象としています。

白鷹町は令和3年11月にゼロカーボンシティを宣言しました。地球温暖化対策において、再生可能エネルギーを利用する設備の導入は大きな役割を果たしますので、引き続き導入を支援してまいります。

【町民課】



補助対象を拡大し、県内でも特に充実した補助内容となった。  
制度を周知し、更なる利用促進を図りたい。